

Ⅶ 社会的活動について

【社会的（国際的活動は別項で記述）への取組みについて】

(1) 当該短期大学の社会的活動への取組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、当該短期大学ではどのように考え、また今後どのように取り組む予定かを記述して下さい。

本学は地域に根ざし、地域と共に生きる大学である。地域に有用な人材を養成し送り出すことを第一義的役割としている。また同時に、本学の持つ専門性を活かし、今日の社会の教育的ニーズに対応して、その教育資源を地域に開放し提供すること、さらに、地域社会の抱える様々な問題を、地域の関係機関・団体等と共に研究し、問題提起し、情報発信することも本学の重要な役割であると位置づけている。

今後は、一層地域社会との連絡を密にして、「私たちの大学」と言われるよう努力したい。

(2) 当該短期大学の社会人受け入れの状況については、既に《V学生支援》の「多様な学生に対する支援について」の記述(2)で報告頂いておりますので、ここでは生涯学習の必要性が高まるなかで、当該短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。

本学は生涯学習やリカレント教育も、短期大学の大きな使命の一つと考えている。

- ① ビジネス実務学科では18年度から卒業生（一部社会人を含む）を対象に、平日の夜間や土曜日を利用しての、パソコン教室・簿記教室を開設予定である。
- ② 幼児教育学科では、卒業生対象の、資格を取得する科目等履修生を受け入れ、また、専攻科では、国の委託事業で介護福祉士になるための講習会を引き受けている。
生涯学習・リカレント教育の場として、今後は環境整備、人員配置等解決すべき問題点も少なくないが、クリアしていかねばならないと考えている。

◆別冊添付資料No.7「科目等履修生募集要項」

(3) 過去3ケ年の当該短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。

本学は地域の住民・関係者向けに各種講座、講演会等を実施しているが、正規授業は行っていない。

① 金城大学公開講座

平成15年度までは、県と共催で教養講座を行っていた。16年度から本学の単独事業として、本学社会福祉学部と共同して実施している。

◇参考資料No.26「金城大学公開講座」

金城大学公開講座

開催年度	講座数	申込者数	延べ出席者数	備 考
17年度	10	37人	193人	あなたの‘まち’の大学と一緒に学ぼう
16年度	10	71人	194人	生きがいと癒しのある生活
15年度	22	74人	315人	クリエイティブライフ教養講座

② 地域子育て支援フォーラム

幼児教育学科の企画で、子育て問題への支援と共同研究の一環として 16 年度から始めた、講演とシンポジウムである。 ◇参考資料No.3「短大だよりNo.40」 p.6

③ 金城公開セミナー「観光ビッグバン」

ビジネス実務学科の企画で、日本の観光事業の様相の変容を受けての観光事業者を対象としたセミナー。 ◇参考資料No.27「短大だよりNo.39」 p.6

④ 高校教員対象の「コンピュータ教室」

Access 入門、ノンリニア編集入門、Flash を利用した Web アニメーション作成入門。

⑤ 一般向けホームページ作成入門講習会

ビジネス実務学科ビジネス情報コースの学生の、インストラクタ技能を発揮する機会となった。 ◇参考資料No.27「短大だよりNo.39」 p.5

⑥ エデュケーショナル・キャリアカウンセラー養成講座

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」の採択を受け、同年からカウンセラー技術を磨くための講座を開設している。17年度の受講者は 42 名であった。

◇参考資料No.27「短大だよりNo.39」 p.5

⑦ 介護福祉士資格取得講座

介護福祉士国家試験受験者対象の介護技術講習会を行う。

講 座 名		受講者数		
		17年度	16年度	15年度
地域子育て支援フォーラム		150人	146人	—
金城観光ビッグバン		180人	200人	—
高校教員 対象コン ピュータ 教室	初めての Excel VBA 入門	11人	—	—
	ノンリニア入門	3人	9人	—
	Web アニメ作成入門	—	10人	—
	Access 入門	—	9人	—
	Excel 活用編	—	—	6人
	Free BSD で作るユーザ認証サーバ・ファイルサーバ入門	—	—	5人
	Flash を利用した Web アニメーション作成入門	—	—	12人
一般向けホームページ作成入門講習会		23人	11人	—
エデュケーショナル・キャリアカウンセラー養成講座		42人	12人	—
介護技術講習会		384人	—	—

(4) 過去3ケ年の当該短期大学と地域社会（自治体，商工業，教育機関，その他団体等）との交流，連携等の活動について記述して下さい。

「次世代育成策定委員会」の委員の委嘱，商工会での観光活性化の助言者，保育園等の講師派遣，「子育て研究」での各種支援団体との連携，ダンス部，操演部の地域や学校，幼稚園イベントへの参加等，年を追うごとに交流，連携が深まっている。

今後とも，地域大学の自覚のもと，地域社会との「共生」の確立を一層推し進めたい。

【学生の社会活動について】

(1) 過去3ケ年の学生による地域活動，地域貢献或いはボランティア活動等社会的活動の状況を記述して下さい。

本学の幼児教育学科では，幼稚園，保育所及び社会福祉施設での実習教育を充実させる意味においても，様々なボランティア活動を推進し実施している。

- ① 実習につながる園の行事への自発的参加
- ② 地域の子育て支援イベントへの参加
- ③ 高齢者，障害者の地域支援にかかわるイベントへの参加

学内の体制では，幼児教育学科学生及び教員全体でボランティア保険に加入している。コーディネイターとして，ボランティア担当教員が中心に参加依頼を受け付け，教員全体で学生に呼びかけている。また，できる限り活動先に出向き，学生の活動内容を具体的に把握し，受け入れ先とも調整している。

(2) 当該短期大学では学生の地域活動，地域貢献或いはボランティア活動等についてどのように考え，どのように評価しているか記述して下さい。

ボランティア活動を，自分達のできることで社会に役立つ活動と考えれば，学生のできるボランティア活動に限界があるのは仕方がない。しかし，個々の学生の小さな活動が，大きな力となって社会を支えるのに役立つ観点に立って，学生に対して，ボランティア活動への前向きな姿勢と活動を，積極的に奨励することは大変重要なことであろう。幼児教育学科では積極的な活動が見られるが，大学全体としては，残念ながら組織的に行動を起こすところまで広がっていない。

【国際交流・協力への取組みについて】

(1) 当該短期大学の留学生の受け入れ状況については，既に《V学生支援》の「多様な学生に対する支援について」の記述例(1)で報告頂いておりますので，ここでは過去3ケ年の在籍中の学生の海外教育機関への派遣（留学〈長期・短期〉を含む）の状況を記述して下さい。

本学のビジネス実務学科に留学・国際コミュニケーションコースというコースがあり，学

生を4か月間アメリカに派遣してきたが、コース廃止に伴い今年度の卒業生6名で短期の海外留学は終了した。

(2) 過去3ケ年の当該短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。

現在アメリカのコロンビアカレッジ（ミズーリー州）、リンカーンユニバーシティ（カリフォルニア州）、ハイデルバーグカレッジ（オハイオ州）の3大学、台湾の国立台湾芸術大学、遠東技術学院の2大学、中国の蘇州市職業大学、中国科技経営管理大学、無錫科技職業学院の3大学と学術交流協定を結んでいる。また、上海美術学院とは学術交流協定を結ぶための準備をしようという協定がある。

本年度、101周年記念式典に蘇州市職業大学と国立台湾芸術大学の代表団が来日した。

また、前年度、学術交流協定を締結した無錫科技職業学院において、この協定に基づく本学への留学について説明会を行い、平成18年4月に1名が入学する予定である。

17年度については、本学の101周年ということもあり、協定校の2校を招待することができた。しかし、古くからの協定校であっても担当者が交替するなど、担当者に本学になじみが無く、招待してもなかなか応じてもらえない。機会を見て互いの学校を訪問し、旧交を暖めることも、交流を実質的に長続きさせるために重要である。

(3) 過去3ケ年の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。

本年度、海外派遣等はなかった。前年度は、ビジネス実務学科の教員が1名、オーストラリアで研究発表を行った。また、前々年度は同じ教員が韓国の学会に参加している。

【特記事項について】

(1) この《Ⅶ社会的活動》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関と連携、外国人への日本語教育など、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。

いしかわシティカレッジに、本学から講師を派遣し、後期に「音楽 ～心と体を癒す楽しい歌唱法～」を、一般向け・石川県内学生向けに開講し、受講者への単位を認定した。

◇参考資料No.2「シティカレッジ聴講生募集ガイド（2006年度）」p.36